

トピックス

たつ 辰年の話題



◆ 平成24年の干支

- 平成24年の干支は、「壬辰」(みずのえたつ・じんしん)です。
- 「辰」という漢字は、はまぐり貝の蟹の原字であり、二枚貝が開いて殻から脚を出して運動している形を描いた象形文字です。「説文」(最古の漢字辞典)によると“辰は振なり、三月易気動き、物皆伸舒す”とあり、春の陽気に誘われて万物が振動し、草木の形が整って活力が旺盛になった状態を表すと解釈されます。辰が十二支の五番目に当てられたのも、動植物がふるいたつ初夏の頃の意からといわれています。また、これを「龍(竜)」としたのは庶民に十二支を浸透させるため、順番や選ばれた理由は定かではありません。
- 辰年は今まで内に閉ざされ、紆余曲折していた陽気、活動が活発化するにつれ、善悪のいろいろな問題が外に出てくるので、それだけに気持ちを集中して物事に対応してゆく年といえるでしょう。
- 辰年生まれの性格
長所 正直。涙もろい。同情心がある。感激し易い。勇気がある。人に愛され、引き立てられる。大胆。義侠心がある。忍耐強い。
短所 片意地で偏屈。生一本の性格。求めなくともよい悩みを招いて一人思案に耽る。人に詭弁を振るったり、頭を下げたりすることは苦手。自負心強く傲慢。
- 辰は十二支の五番目で、方角は東南東。時刻は午前八時、または午前七時から九時までの間をさす。因みに今年の「恵方」(その年の福の神「歳徳神」が降臨する方角)は北微西、すなわち、やや西寄りの北です。

◆ 辰にちなんだ故事・ことわざ

竜虎相搏つ

竜虎は力量の伯仲した、天下を二分する英雄のとえ、その世界における二大強豪が優劣を競って対決する。

逆鱗に触れる

目上の人などの機嫌を損ねて怒りをかい、

激しく叱られること。逆鱗は竜の胸に逆さに生じた一枚のうろこ。

竜頭蛇尾

頭が竜のようで尾が蛇のように、始めは盛んで終わりがふるわないこと。

雲となり竜となる

竜が雲に添うことから、男女の仲などがたいへん睦まじいことのたとえ。

竜の水を得るが如し

竜が水を得て雲を呼び、天にも昇る様な勢いのことで、力を秘めていた強いものが機会を得ていよいよその力を一層発揮すること。

登竜門

立身出世の関門、竜門は黄河上流の流れが急なところで、鯉などが登ると竜になるといわれている。

◆ 辰年の主な出来事

- 1940年(昭和15年) —
紀元2600年記念祝賀行事挙行。日独伊三国同盟調印
 - 1952年(昭和27年) —
血のメーデー事件。日航もく星号大島墜落。「君の名は」放送開始
 - 1964年(昭和39年) —
新潟地震。東海道新幹線開通。第18回東京オリンピック大会開催
 - 1976年(昭和51年) —
宅配便スタート。周恩来没。天安門事件。毛沢東没
 - 1988年(昭和63年) —
青函トンネル開業。東京ドーム落成。伊豆半島群発地震。瀬戸大橋開通
 - 2000年(平成12年) —
雪印乳業集団食中毒。二千円札発行。三宅島噴火全島民避難。シドニー五輪マラソンで高橋尚子優勝。白川英樹ノーベル化学賞受賞
- ※参考：『続・十二支のE話』戸出 武、大龍堂書店